

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド2号」第11号案件への投資について ～世界でITS(高度交通情報システム)事業を展開する「株式会社 ゼロ・サム」へ投資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2019年2月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 奥野 浩）と共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合（略称：京銀未来ファンド2号）」は、第11号投資案件として、「株式会社 ゼロ・サム」へ投資いたしました。これにより「京銀未来ファンド」および「京銀未来ファンド2号」での投資先は、26社となります。

「株式会社 ゼロ・サム」は、日本国内やインド、アジア地域において、自動車と道路のIoT化に向けたITS（高度交通情報システム）事業を展開する企業です。都市交通の最適化を目指す同社のシステムは、将来の自動運転社会を技術面から支えるとともに、交通渋滞のない安全・安心な社会の実現に寄与すると期待されています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行う当ファンドを通じ、幅広いステージの企業を積極的に支援し、さらなる地域経済の活性化と地域創生に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	株式会社 ゼロ・サム
代表者	代表取締役 菊池 力
本社所在地	京都市下京区醍醐町284 YMC 烏丸五条ビル7F
設立	2004年6月
事業内容	自動車ITS事業、道路ITS事業 【自動車ITS事業】 カーナビゲーションシステムおよびテレマティクスシステムの開発・運用・保守等 【道路ITS事業】 リアルタイム交通情報配信システムおよびV2X技術*の開発等 *V2X技術…V2XはVehicle to Everythingの略。車と様々なものを繋ぐ通信技術。

2. 投資額

30,900,000円

3. 投資について

日本国内およびインド等において、自動車と道路のIoT化に向けたITS（高度交通情報システム）事業を展開する「株式会社 ゼロ・サム」の既存株主から株式取得を行う。

4. 京銀輝く未来応援ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年（ただし、合意により2年間の延長可能）

以 上